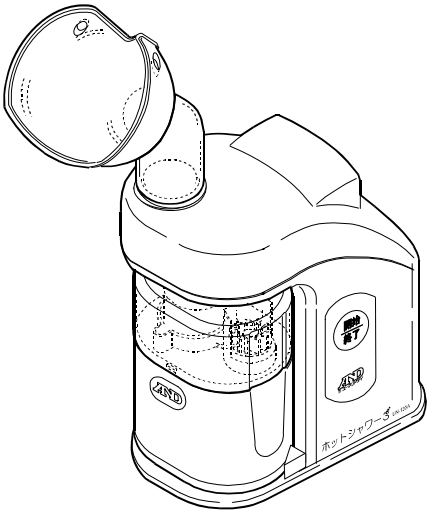
取扱説明書

エー・アンド・デイ

超音波温熱吸入器
ホットシャワー３
UN-133A



取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
また、ご使用の際いつでも本書を見られるように保管してください。

もくじ

安全にお使いいただくために １
本体・付属品を確認してください ２
各部の紹介 ３
特長としくみ ４
開始・終了スイッチの表示について ４
使い方 ５
　１．ご使用の前に ５
　２．カートリッジを準備する ５
　３．本体を準備する ８
　４．吸入をはじめる ９
使い終わったら １１
　１．電源コードを抜く １１
　２．残った水を捨てる １１
　３．お手入れ １２
修理を依頼される前に １４
別売品（付属品） １５
廃棄処分するときは １５
仕様 １５
保証規定 １８
製品に関するお問い合わせ １８
保証書 １９

こんな時にご使用ください

こんな症状のとき本器で吸入を行ってください。
傷んだノド、鼻の粘膜にうるおいを与え、痛みや不快感を和らげます。

●風邪や花粉症による鼻水、鼻づまりに
●たばこの吸いすぎによるノドがれに
●声の出しすぎによるノドがれに
●ほこりっぽい所にいたとき、外出帰りのノドの不快感に

1WMPD4000858D

安全にお使いいただくために―必ずお守りください―

本書には、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた超音波温熱吸入器を安全に正しくお使いいただくため、守っていただきたい事項を記載しています。その表示と図記号の意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本書をお読みください。

⚠ 警告	この表示の欄は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容です。

⚠警告

・喘息などの治療中の方は、必ず医師にご相談の上ご使用ください。
・改造や修理は、修理技術者以外は行わないでください。保証の対象外になるばかりか、本器を損傷したり火災の原因になります。
・濡れた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししないでください。感電やけがの恐れがあります。

⚠注意

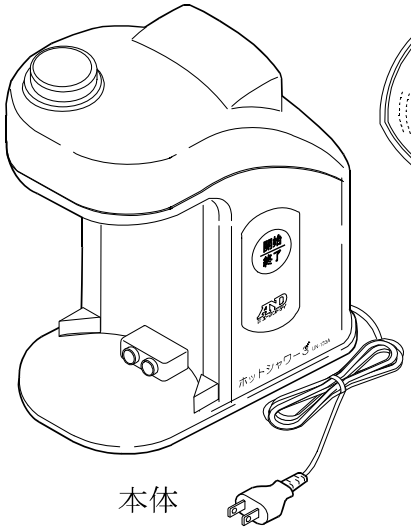
・吸入液には水、または生理食塩水を使用し、薬液は使用しないでください。
・吸入液の量は、入れすぎたり、少なすぎたりしないようにしてください。あふれたり、霧の出が悪くなる原因になります。
・身体に異常（例えば、鼻粘膜の炎症や口腔内の炎症）がある場合は、必ず医師に相談の上ご使用ください。
・使用中に身体に異常を感じたときは、使用を速やかに中止してください。
・吸入は１回５分以内とし、続けて使用する場合は２回までとしてください。それ以上の使用は、低温火傷をする恐れがあります。口、鼻が熱いと感じられたら、吸入マスクから口、鼻を離して吸入してください。
・吸入以外でのご使用は、絶対おやめください。
・使用後はコンセントから電源コードを抜いて、ヒーターが冷めてから保管してください。火傷や火災の原因になります。
・使用後は本器を清掃し、乾燥させてから保管してください。

⚠注意

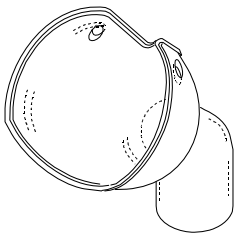
・本体及びカートリッジを水で丸洗いしないでください。故障や感電する恐れがあります。
・ヒーター一部は高温になっていますので、お取り扱いの際は充分ご注意ください。
・極端に高温になったり、焦げ臭い匂いがしたり、動かなくなった場合は、コンセントから電源コードを抜き、速やかに使用を中止してください。
・事故を防ぐため、子供や身体の不自由な人が本器を使用する場合は、必ず助けとなる人が付き添ってください。また、保管する際は、本器を子供の手の届かないところに保管してください。
・直射日光が長時間あたる場所では使用しないでください。
・ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気のない場所でご使用ください。
・傾斜、振動、衝撃などのない場所でご使用ください。
・携帯電話など電磁波を発生する機器を近づけないでください。誤動作する恐れがあります。
・他の医療用具や器具と接続しないでください。事故の恐れがあります。

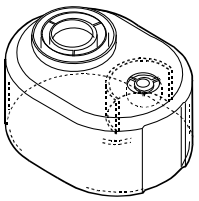
本体･付属品を確認してください

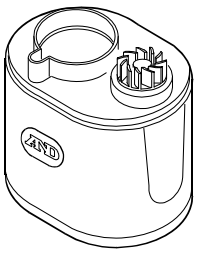
この取扱説明書の他に本体と付属品が全てそろっていることを確認してください。
万一品物がない場合は、お買い上げいただいた販売店または弊社の最寄りの営業所・出張所にご相談ください。



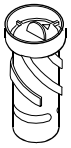
本体

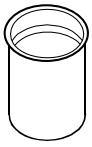

吸入マスク

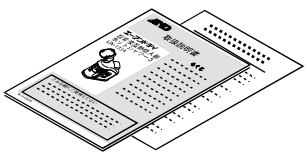

カートリッジ
カバー



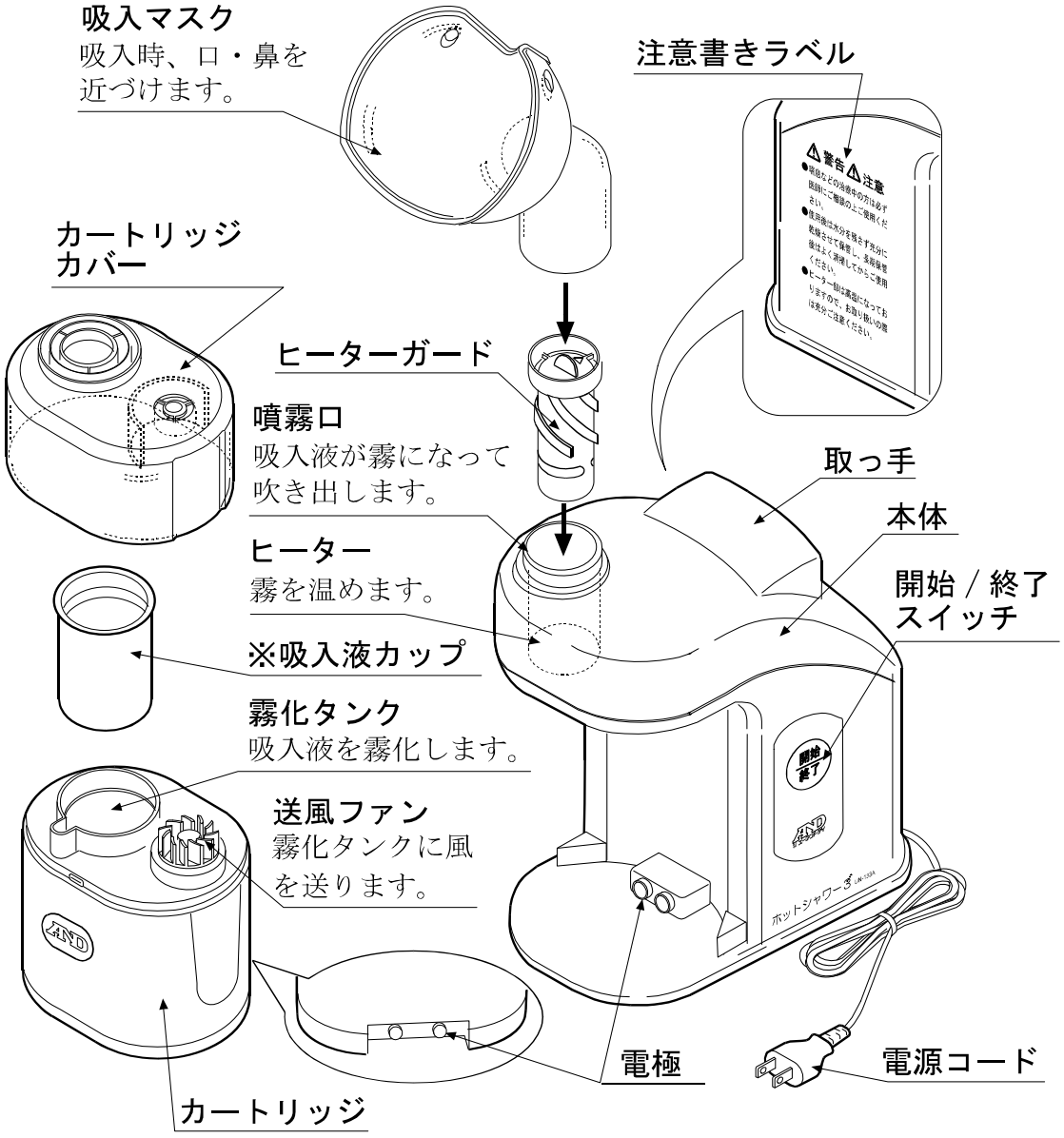
カートリッジ


ヒーターガード

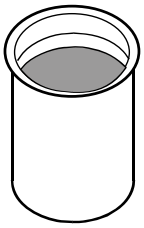

吸入液カップ


取扱説明書 / 添付文書

各部の紹介



※吸入液カップ

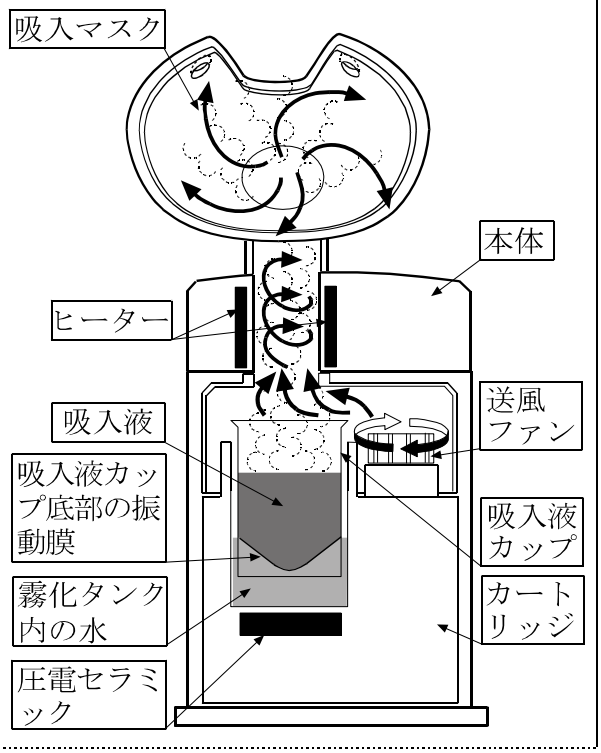


吸入液を入れます。また、吸入液や水を計量する役目もあります。

> **⚠注意**
> **吸入液カップ底部の振動膜は破損しやすいので、押したり傷つけたりしないでください。**

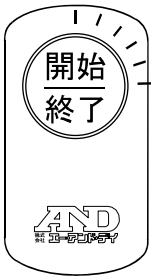
特長としくみ

本器は、圧電セラミックを利用した超音波振動により、一様な霧粒子を作り出しています。
そのため、鼻や喉の広い範囲を潤すことができます。
また、霧はヒーターにより約４３℃に加温されますので、子供から成人まで気持ちよく吸入することができます。

霧化の原理	内部のしくみ（正面図）
霧化タンク底部の圧電セラミックで発生した超音波振動が **圧電セラミック** ↓ **霧化タンク内の水** ↓ **吸入液カップ底部の振動膜** ↓ **吸入液** の順に伝わり吸入液が霧となります。 霧は、本体のヒーターを通過する際に温められ、吸入マスクから送り出されます。	

開始・終了スイッチの表示について

本器は、動作の状態を 開始・終了 スイッチの点灯でお知らせします。



① 消灯しているとき ..... 本器は停止しています。
② ゆっくり点滅しているとき ..... 本器は予熱動作をしています。
（霧は出ません。）
③ 点灯しているとき ..... 本器は噴霧動作をしています。
（あたたかい霧が出ます。）
④ 早く点滅しているとき ..... 動作エラーです。

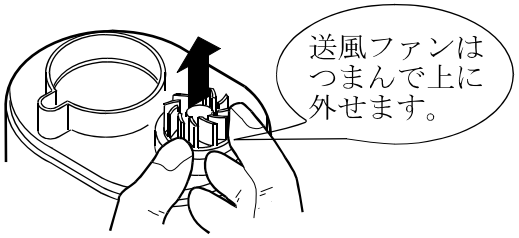
使い方

1．ご使用の前に

① 各部品をすすぐ。

ヒーターガード、カートリッジカバー、吸入液カップ、吸入マスクを水道水ですすいでください。

カートリッジ霧化タンク内にも、吸入液カップなどで水道水を注ぎ入れ、すすいでください。

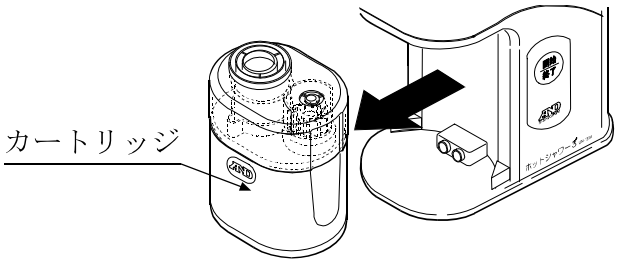


⚠注意

- 生理食塩水が送風ファンに付着し、それが乾燥すると塩の結晶状態になる場合があり、送風ファンの回転を妨げることがあります。ご使用になる前に、指で送風ファンを回転（1～2回）させて回ることを確認してください。
- 一週間に一度、送風ファンを取り外して清掃をしてください。そのまま使用すると送風ファンが回らないばかりでなく、故障の原因になります。

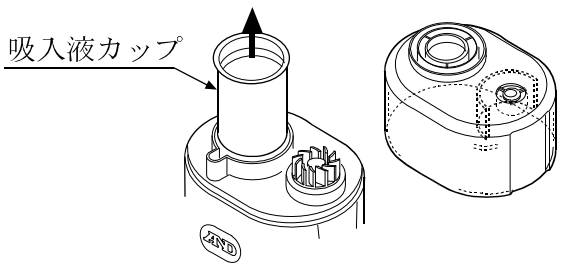
2．カートリッジを準備する

① カートリッジを引き抜く。



---

② 吸入液カップを取り出す。

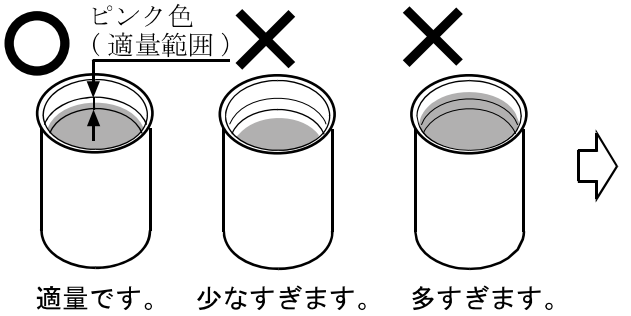


---

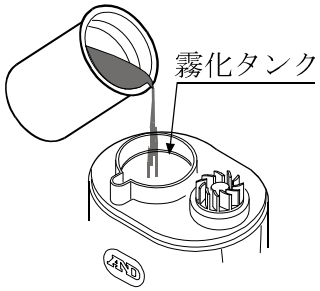
③ **霧化タンクに水を入れる。**

吸入液カップ内側のピンクの帯の間まで水を入れてください。

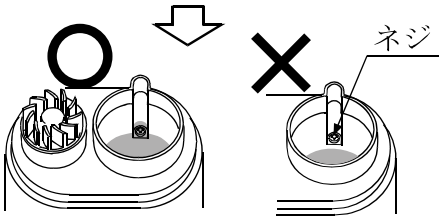
その水を霧化タンクの中に入れます。



適量です。　少なすぎます。　多すぎます。



タンク内のネジに水がかぶっていること
を確認してください。



⚠注意

・水が少なすぎたり、入れ忘れた場合は動作エラーとなりスイッチが早く点滅をして噴霧しません。ネジまで水がかぶっていることを確認してください。

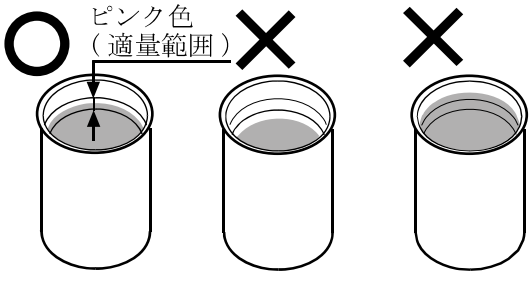
・水の量は入れすぎたりしないようにしてください。あふれたり、霧の出が悪くなる原因になります。

・霧化タンクに入れる水は、超音波の発生に必要な水で、吸入する水ではありません。水道水以外は入れないでください。

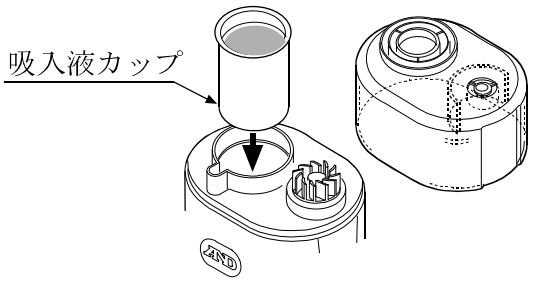
---

④ **吸入液カップをセットする。**

もう一度、吸入液カップ内側のピンクの帯の間まで吸入液を入れてください。



吸入液の入った吸入液カップをセットしてください。



⚠注意

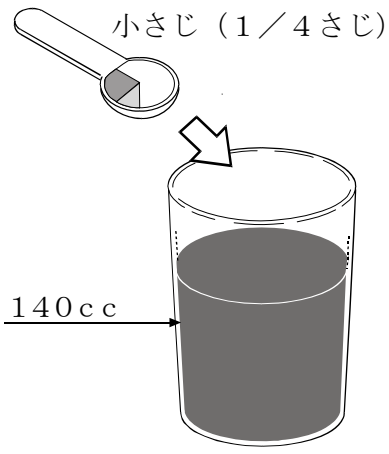
- 吸入液には水・生理食塩水を使用し、薬液は使用しないでください。
- お湯は使用しないでください。霧の温度が高温となったり、機器が破損する恐れがあります。
- 吸入液カップを勢いよくセットすると、霧化タンクの水があふれる場合があります。
- カートリッジが濡れた場合は、乾いた布でよく拭き取ってください。
- 吸入液を入れた吸入液カップを、テーブルなどの上に長時間放置しないでください。吸入液が漏れる場合があります。

メモ

生理食塩水（約０．９％の食塩水）は、以下のようにして作ります。

① 水１４０ｃｃを、容器に入れます。

② 調理用小さじ（５ｃｃ）に、すりきり１／４さじ（１．２５ｇ）の食塩を①の水に入れ、よくかき混ぜます。



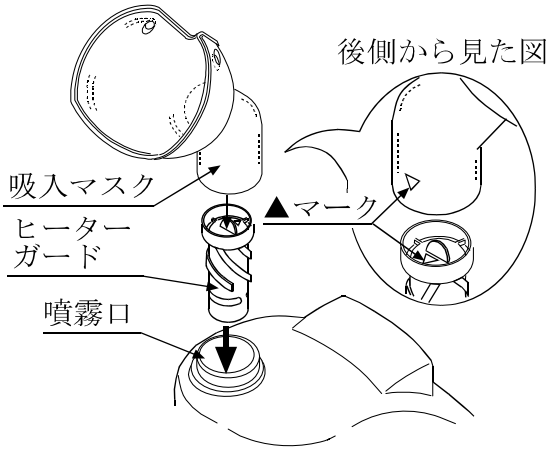
⚠注意

- 必ず水道水でお作りください。また、作った生理食塩水は、冷蔵庫で保管の上その日の内に使い切ってください。
- 生理食塩水が濃すぎないように、分量を正しく計量してください。

3．本体を準備する

① 吸入マスクを取り付ける。

吸入マスクとヒーターガードの▲マークを合わせるように取り付けてください。



⚠注意

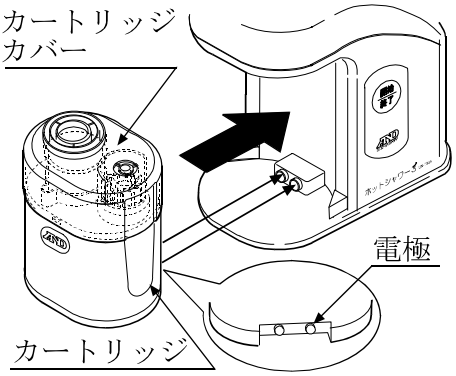
ヒーターガードは必ず装着してください。霧が温まらなくなります。また、ヒーターが露出し危険です。

---

② カートリッジを取り付ける。

⚠注意

- カートリッジカバーを忘れずに装着してください。カートリッジカバーがないと、吸入液が周囲に飛散します。
- カートリッジを本体につける際には、電極に汚れや異物がないか確認してください。異物や汚れがあると動作しません。

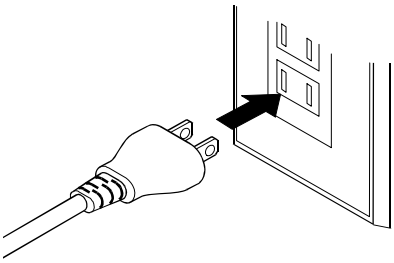


---

③ 電源プラグをコンセントに差し込む。

⚠警告

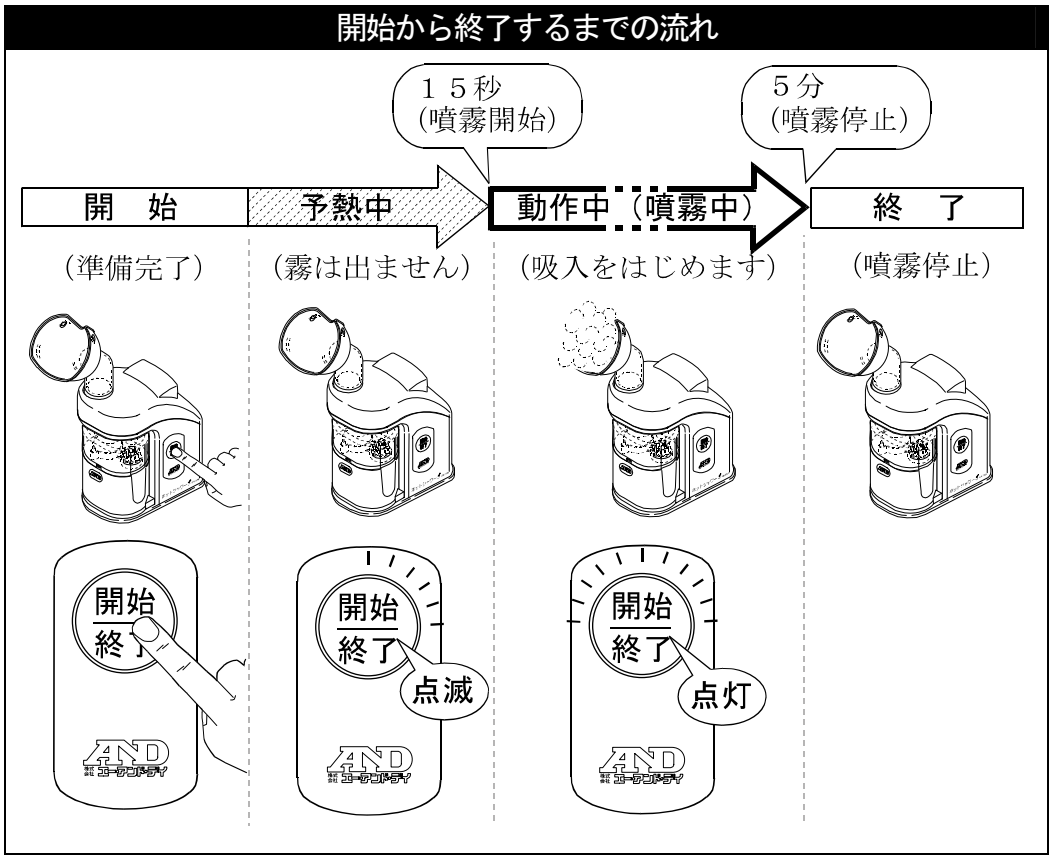
濡れた手で、電源プラグをコンセントから抜き差ししないでください。感電やけがの恐れがあります。



４．吸入をはじめる

① **開始・終了 スイッチを押す。**

ヒーター予熱のため、約１５秒間 開始・終了 スイッチ部がゆっくり点滅します。
予熱を完了すると、点滅から点灯に変わり噴霧を開始します。

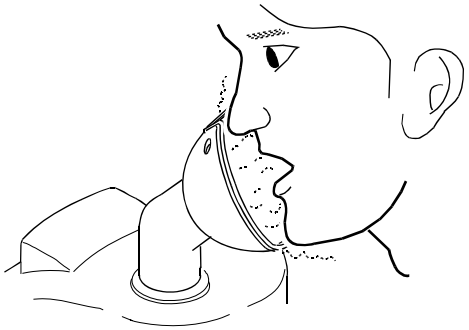


---

② **吸入をはじめる。**

メモ

１回の動作時間は、約５分です。
５分で自動終了します。
使用途中に吸入を止めたいときは、開始･終了 スイッチを押してください。スイッチ部が消灯し、噴霧を停止します。



メモ

むせやすい方は・・・・・・

● 生理食塩水をお試しください。

---

③ **連続して使用する場合**

続けて２回ご使用になる場合は、残った吸入液、霧化タンク内の水を捨て５ページの「２．カートリッジを準備する」からやり直してください。

また、さらにご使用になる場合は、本器を５分以上休ませてからご使用ください。

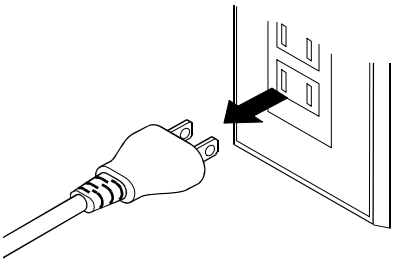
⚠注意

- **身体に異常（例えば、鼻粘膜の炎症や口腔内の炎症）がある場合は、必ず医師に相談の上ご使用ください。**
- **使用中に身体に異常を感じたときは、速やかに使用を中止してください。**
- **連続しての吸入は２回までとし、それ以上の連続使用はおやめください。低温火傷をする恐れがあります。**
- **口、鼻が熱いと感じられたら、吸入マスクからさらに口、鼻を離して吸入してください。**

使い終わったら

1．電源コードを抜く

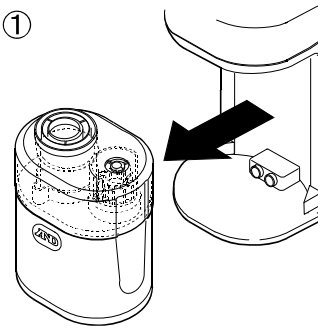
コンセントから電源プラグを抜きます。

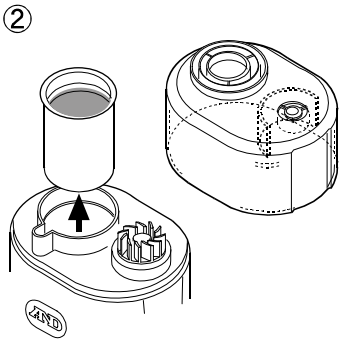


2．残った水を捨てる

① 本体からカートリッジを外す。

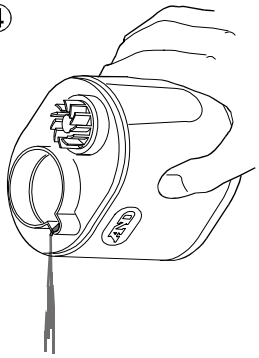
② カートリッジカバーを外し、カートリッジから吸入液カップを取り外す。



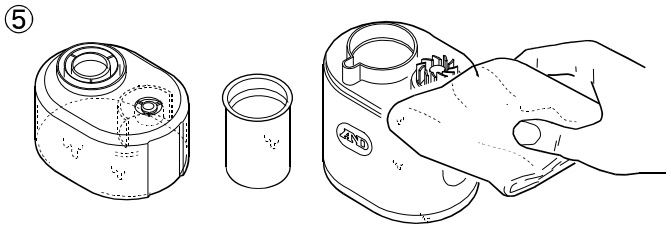


③ 吸入液カップに残っている吸入液を捨てる。

④ 霧化タンク内の水を捨てる。



⑤ 各部を乾いた布で拭く。



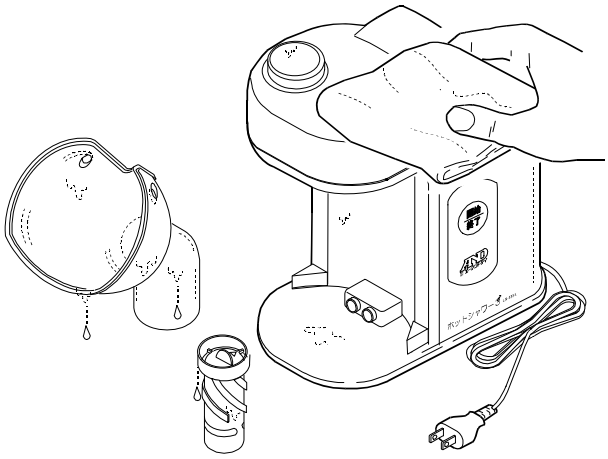
３．お手入れ

⚠注意

使用直後のヒーター部は高温になっており、火傷をする恐れがあります。お手入れの際は、使用後１５分以上放置し、ヒーター部が充分冷えたことを確認してください。

① 本体の水滴を拭き取る。

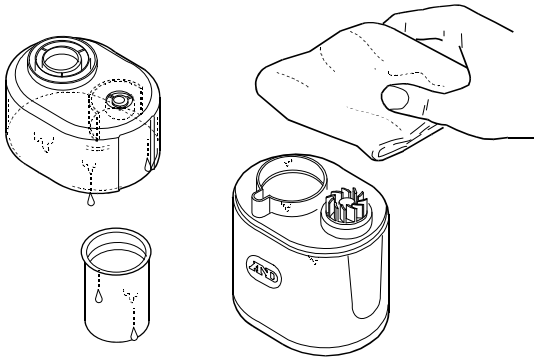
ヒーター部が充分冷えたのを確認した後、本体から吸入マスク、ヒーターガードを取り外し、よく乾いた布で水滴を拭き取ります。また、ヒーター部についた水滴も拭き取ります。



---

② カートリッジの水滴を拭き取る。

カートリッジの吸入液カップ、霧化タンク、カートリッジカバー、カートリッジ本体の水滴を、よく乾いた布で拭き取ります。



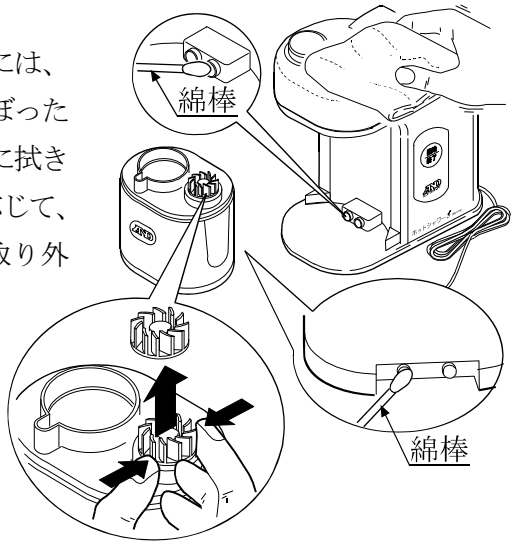
⚠注意

- **吸入液カップの底部は、振動膜になっています。この振動膜は、たいへん傷つきやすいので、ていねいに清掃してください。**
- **本体、カートリッジを水で丸洗いしないでください。故障や感電の原因になる恐れがあります。**

“汚れたら”

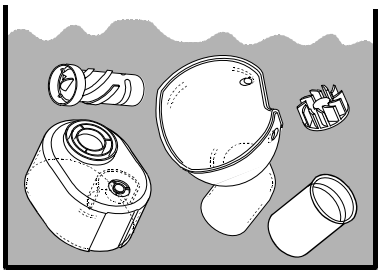
本体、カートリッジ各部の清掃

- 本体、カートリッジ各部の清掃には、柔らかい布に水を湿らせよくしぼったものを使用し、汚れをていねいに拭き取ってください。また、必要に応じて、カートリッジの送風ファンを取り外し、汚れを拭き取ってください。
- 本体・カートリッジ電極部の水滴、汚れは綿棒などで拭き取ってください。



水洗い

カートリッジカバー、吸入マスク、ヒーターガード、送風ファンは家庭用中性洗剤で洗えます。ただし、吸入液カップは破れやすいので、つけおき洗いしてください。



⚠注意

・衛生的にお使いいただくために、しばらくご使用にならなかった場合は、よく清掃してご使用ください。
・変形や変色の原因になりますので、シンナー等の強力な洗浄剤で本器を清掃しないでください。
・変形や変色の原因になりますので、煮沸消毒はしないでください。

修理を依頼される前に

⚠警告

改造や修理は、修理技術者以外は行わないでください。保証の対象外になるばかりか、本器を損傷したり火災の原因になります。

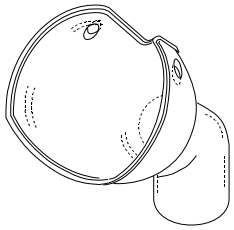
修理を依頼される前に、次のことをもう一度お確かめください。

症 状	点 検	処 置
開始･終了 スイッチを押してもスイッチ部が点滅（点灯）しない！	● 電源コードがコンセントに正しく差し込まれていますか?	電源コードを差し直してください。(⇒ 8ページ参照)
予熱１５秒以上たっても霧が出ない！ 霧の出が悪い！	● 吸入液は入っていますか? ● 吸入液が多すぎませんか? ● 吸入液が少なすぎませんか?	吸入液を入れ直してください。 (⇒ 6，7ページ参照)
	● 霧化タンクの水は入っていますか? ● 霧化タンクの水が少なすぎませんか? ● 霧化タンクの水が多すぎませんか?	霧化タンクの水を入れ直してください。(⇒ 6ページ参照)
	● 吸入液､霧化タンク内の水の温度が低すぎませんか?	しばらく放置し水温が室温近くになるのを待ってご使用ください。
霧の温度が低すぎる！	● ヒーターガードは取り付けられていますか?	ヒーターガードを取り付けてください。(⇒ 8ページ参照)
開始･終了 スイッチが点滅し動作を停止する！	● 霧化タンクに水が入っていますか? ● 蒸留水、精製水等は使っていませんか?	水道の水に入れ直してください。(⇒ 6ページ参照)
	● 電極部が濡れていませんか?	電極部の水滴を綿棒等で拭き取ってください。 (⇒ １３ページ参照)
	● カートリッジが奥まで入っていますか?	カートリッジを奥までしっかりと差し込んでください。 (⇒ 8ページ参照)
ヒーター部から「ジュッ」と音がする！	水滴が蒸発する音です。異常ではありません。	
本体が温かい！	異常ではありません。	

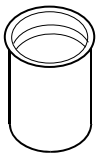
以上のことを確認の上で異常がある場合は、

お買い上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所・出張所に修理をご依頼ください。

別売品（付属品）



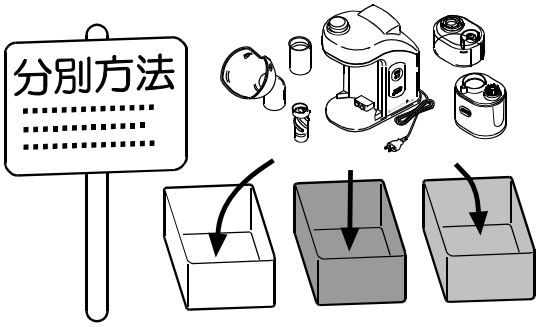
吸入マスク　UN－１３３－０１



吸入液カップ UN－１３３－０２

廃棄処分するときは

本製品を廃棄する際は、各自治体の分別方法に従って廃棄してください。



仕　様

定格電圧	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
定格消費電力	１７０Ｗ
定格時間	短時間定格　５分間
霧化量	約１．８ｃｃ／分
霧化粒径	約５ミクロン
霧温度	約４３℃（気温２３℃　水温１５℃）
寸法	巾１００×奥行１６６×高さ２６６ mm
重量	約１．５ｋｇ
医療機器分類	管理医療機器

EMC適合　　本製品はEMC規格 IEC60601-1-2：2001に適合しています。

保証規定

○次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

１誤ったご使用またはお取り扱いによる故障または損傷。

２保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。

３不適切な修理改造および分解、その他の手入れによる故障または損傷。

４火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源使用およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。

５保証書のご提示がない場合。

６保証書にお買い上げ年月日、保証期間、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

７ご使用後の外装面の傷、破損、外装部品、付属品の交換。

○保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。

○本保証書は日本国内においてのみ有効です。

※ お買い上げ店または弊社営業所にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様がご負担願います。

製品に関するお問い合わせは 健康機器相談センターへ

受付時間:月～金曜日　AM9:00～12:00　PM1:00～4:00

東日本地区

0120-514-016

〒３６４－８５８５
埼玉県北本市朝日１－２４３
（株）エー・アンド・デイ
ＦＥ課

西日本地区

0120-887-592

〒５３２－００１１
大阪市淀川区西中島６-１-３
アストロ新大阪第２ビル８Ｆ
(株) エー・アンド・デイ
大阪営業所　ＦＥ課

製造販売業者　（株）エー・アンド・デイ　埼玉県北本市朝日１－２４３

販売店様へのお願い：保証期間などの記載事項を必ずお確かめください。

保証書

このたびは、超音波温熱吸入器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この製品が、取扱説明書にもとづく通常のお取り扱いにおいて、万一保証期間内に故障が生じました場合は、本保証書を現品に添えてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社・営業所にご持参くだされば、保証規定に基づき保証期間内に限り無償で修理・調整いたします。

品名	エー・アンド・デイ　超音波温熱吸入器
型名	ＵＮ－１３３Ａ
お客様 お名前	様
ご住所	□□□－□□□□
ご購入日	年　月　日
ご購入店（ご購入店名を必ずご記入ください。）	
保証期間	ご購入日より１年間

株式会社 エー・アンド・デイ